

嘉麻市国際交流推進について

令和7年9月2日

嘉麻市国際交流推進本部
(総合政策課取扱)

1 国際交流の現状

在留外国人は日本全体で増加傾向にあり、令和6年6月末時点での在留外国人数は約358万人（うち男性約181万人、女性約177万人）に達しています。※前年末比+177,964人
令和6年12月末時点の日本の在留外国人は約376万人で、3年連続で過去最多を更新しています。

●国籍・地域別ベスト5

国籍・地域別総数	
国籍・地域	在留外国人数
中国	844,187人
ベトナム	600,348人
韓国	411,043人
フィリピン	332,293人
ブラジル	212,325人

※出入国在留管理庁HPより抜粋

福岡県内における在留外国人も増加傾向にあり、令和6年6月末時点での在留外国人数は、約105,000人に達しています。 ※前年末比+5,354人

2 市内の在留外国人の概況

(1) 在留外国人の推移

嘉麻市においては、本市全体の人口が減少傾向にある一方、外国人人口は年々増加しています。

嘉麻市の全人口				うち外国人数			外国人割合
時点	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
令和3年3月末	17,170人	19,520人	36,690人	147人	185人	332人	0.905%
令和4年3月末	16,842人	19,140人	35,982人	120人	165人	285人	0.792%
令和5年3月末	16,558人	18,779人	35,337人	134人	175人	309人	0.874%
令和6年3月末	16,212人	18,437人	34,649人	153人	206人	359人	1.036%
令和7年3月末	15,896人	17,966人	33,862人	187人	211人	398人	1.175%

※指定区別人口調べ より

(2) 嘉麻市の在留外国人の在住目的

在留資格	令和2年6月末		令和3年6月末		令和4年6月末		令和5年6月末		令和6年6月末	
経営・管理	1	人	2	人	4	人	3	人	6	人
技術・人文知識・国際業務	10	人	9	人	11	人	13	人	15	人
企業内転勤	0	人	0	人	0	人	4	人	5	人
技能	2	人	2	人	2	人	1	人	1	人
特定技能1号	0	人	3	人	4	人	24	人	38	人
技能実習1号口	34	人	19	人	25	人	28	人	46	人
技能実習2号口	89	人	79	人	44	人	39	人	37	人
技能実習3号口	12	人	15	人	28	人	32	人	20	人
留学	0	人	0	人	1	人	0	人	0	人
家族滞在	2	人	4	人	4	人	6	人	15	人
特定活動	3	人	14	人	16	人	3	人	1	人
永住者	50	人	52	人	51	人	50	人	49	人
日本人の配偶者等	7	人	9	人	8	人	8	人	7	人
定住者	6	人	6	人	7	人	15	人	19	人
特別永住者	119	人	114	人	107	人	102	人	104	人
合計	335	人	328	人	312	人	328	人	363	人
合計の内、仕事の関係で在留資格を有している人数	148	人	129	人	118	人	144	人	168	人

※出入国在留管理庁 在留外国人統計より

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築き、共に生きていく地域社会を構築することで、地域経済の活性化、地域イメージの向上、観光客誘致、外国人労働者の受入れなど地域社会の発展への大きな貢献が期待されることから、嘉麻市においても今後、更に国際交流事業を推進していく必要があります

3 国際交流に関する取組

(1) 日本語教室の開催

生涯学習課にて、年16回程度開催（平成29年より毎年実施 ※コロナ期間は除く）

参加人数：令和2年度 13人、令和3年度 0人（コロナで中止）、令和4年度 5人、
令和5年度 3人、令和6年度 4人、令和7年度 7人

※主に市内企業勤務の技能実習生が参加

(2) 嘉麻市HPへの情報掲載（総合政策課企画調整係にて発信）

福岡県や一般財団法人自治体国際化協会等より情報提供のあったものを随時発信

(3) 特定技能所属機関による協力確認書の受領（法改正により令和7年4月1日より実施）

特定技能外国人の受入れに当たり、当該外国人が活動する事業所の所在地及び住居地が属する地方公共団体から、共生施策に対する協力を求められた場合には、当該要請に応じ、必要な協力をする旨の「協力確認書」を市区町村に対し、提出するもの。

本市においては、令和7年8月22日時点で10事業所より協力確認書を受領。

※共生施策に対する協力（例）

- ・ 条例等の法的根拠があるもの
- ・ アンケート調査、ヒアリング等への協力
- ・ 各種情報（各種行政サービス、交通・ゴミ出しのルール、医療・公衆衛生や防災訓練・災害対応等に関する案内、地域イベント、日本語教室等の開催案内等）の周知等

4 国際交流推進に関する課題

(1) ニーズの把握、分析

嘉麻市に居住している外国人が、実際にどういった対応を求めているのか。また、外国人が居住する地域に住む嘉麻市民の国際交流に関するニーズについても現状把握や分析が必要。

(2) 言語、文化等の課題整理

情報発信手段が確立していない。(嘉麻市HP等、多言語対応ができていない。)やさしい日本語の導入や、嘉麻市HPの多言語対応、市の広報物への記載内容、方法等についても検討が必要。

(3) 人口減少への対応

本市においては人口減少傾向が続いており、将来的には労働力不足や事業所・店舗の閉鎖によるさらなる人口減少が懸念され、地域の持続可能性が課題となっている。こうした状況に対応するためには、労働力確保の方策として外国人材の受け入れや、インバウンド観光の推進が重要であり、同時に、国際交流を通じて多様な文化や価値観を尊重し合い、外国人住民と地域住民が共に暮らしやすい環境を整えることが、持続可能な地域づくりに不可欠。

5 国際交流に関する今後の取り組み

(1)外国人への生活支援（外国人相談窓口の設置など）の強化

→FUKUOKA_IS_OPEN（福岡県国際交流センター）等と連携し、外国人相談窓口（オンライン相談窓口）を設置するなど取り組みを強化。

(2)窓口やHP、各種SNSでの外国人へ向けた情報発信強化

→やさしい日本語を使用するなど、外国人の方へ伝わる情報発信の仕組みづくり

(3)嘉麻市国際交流推進本部及びプロジェクトチームの設置

→下記の取り組みを今後進めていくにあたり、庁内での連携強化のため設置

地域（学校）における国際理解の推進、多文化イベントの実施、外国人に対する人権擁護の推進、外国人児童生徒教育支援事業、外国人の窓口ワンストップ化、姉妹・友好都市との交流事業、グローバル人材育成研修、オンライン英会話、日本語教室、外国人講師等派遣事業、市内企業への海外展開支援事業、外国人雇用支援、外国人の観光集客推進 等

嘉麻市国際交流推進本部

本部長

赤間市長

副本部長

神代副市長、伊東教育長

本部員

縄田人事秘書課長

大村総務課長

堀田市民課長

大淵学校教育課長

原田産業振興課長

長岡人権・同和対策課長

古賀デジタル戦略課長

小林総合政策課長

高野環境課長

末永生涯学習課長

溝口防災対策課長

高井産業振興課参事

■ 所掌

本部の所掌事務は、次のとおりとする

- (1) 外国人への生活支援や国際理解の推進等、多文化共生の推進に関すること。
- (2) 海外企業の誘致等の経済交流又は教育を通じた交流等、市の国際都市化の推進に関すること。
- (3) その他国際交流の推進に関すること。

令和7年度第1回嘉麻市国際交流推進本部会議

日時 令和7年7月10日(木) 10時30分

議題 嘉麻市国際交流推進について

令和7年度第2回嘉麻市国際交流推進本部会議

日時 令和8年2月頃予定

【事務局】総合政策課

吉田課長補佐、藤内企画調整係長、壁屋主任

リーダー

小林総合政策課長

副リーダー

石坂学校教育課長補佐

チームメンバー

原人事秘書課長補佐 市村総務課長補佐、
松岡人権・同和対策課長補佐、坂本市民係長、
犬丸廃棄物処理係長、矢野中央公民館係長、
野見山防災係長、塚本シティプロモーション係長、
尾籠企業誘致係長、和田主査（中央公民館係）、
辺田主任（デジタル戦略係）

【事務局】総合政策課
吉田課長補佐、藤内企画調整係長、壁屋主任

■ 所掌

本部の所掌事務は、次のとおりとする

- ・プロジェクトチームは、嘉麻市国際交流推進本部（以下「本部」という。）から指示のあった事項を推進する。

- ・令和7年度第1回嘉麻市国際交流推進プロジェクトチーム会議

日時 令和7年9月12日（金）開催予定

議題 嘉麻市国際交流推進について

6 取組スケジュール

内容	令和7年度												令和8年度	令和9年度	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
推進本部会議の開催				第1回								第2回		年2回程度	年2回程度
嘉麻市国際交流推進プロジェクトチーム会議の開催							第1回	2回程度実施						年3回程度	年3回程度
外国人へ向けた情報発信ツールの確立、ツールを利用した情報発信							準備が整い次第随時						随時	随時	
FUKUOKA_IS_OPENを含む外部団体との連携							準備が整い次第随時						随時	随時	